

社会福祉協議会がお届けする“かにえの福祉”

笑顔

2018年7月号

No.146



(写真)「くりやあらんどー! (これはちがうよ)」(沖縄方言のカルタ・かにまるカフェ・はるすの湯)

P.2 **特集** 地域ささえあい情報室

P.4 長寿会単位クラブ活動紹介

P.5 知っ得! 介護・障がいトピックス

P.6 社協のこれからとこれまで

P.8 ほっとたより

P.11 夏休みボランティア福祉体験参加者募集

P.12 かにまる通信

クイズにお答えいただいた
方の中から抽選で
図書カード(1,000円)を
1名様にプレゼント!!

地域の宝物

地域の「宝物」とは

「宝物」と聞いて皆さまは何を想像するでしょうか。神社の奥に収められた歴史的な遺物でしょうか？それとも海賊や冒険家が隠した財宝でしょうか？きっと色々な宝物があることでしょう。

地域づくりの分野や生活支援の中でも「地域の宝物」と呼ばれるものがあります。「地域の宝物」は、その地域に暮らしている人々の何気ない生活の中に埋まっています。例えば、隣近所と挨拶を交わしたり、軽い立ち話をしたり、近隣の知り合いや友人とのお茶のみや趣味のサークルなどの中に「宝物」はあります。



「宝物」は日常生活にあり

一見、これらは日常の中の当たり前の営みで、「こんな普段やっていることの何が宝物なのか？」と思えるかもしれません。しかし、視点をすこし変えてみると、隣近所との挨拶や立ち話はゆるやかな見守り・見守られになっていますし、お茶のみや趣味の集まり等は生活の情報交換や生きがいづくりにもつながっています。つまり、こうした普段の何気ない営みが、住民同士の自然な支え合いになっているわけです。



「宝物」は見つけにくい

こうした日常の中の自然な支え合いが「宝物」と呼ばれるのは、それ自体が大切なことであるということに加え、もう一つ理由があります。それは表面化しにくく、外部からは非常に発見しにくいということです。

私たちは普段、他の人がどうやって生活しているか、どこに出かけて誰と会っているかなど、逐一詳細を知ろうとはしません。特に現代ではプライバシーの問題もあり、こうした他人の生活を細かく知ろうとすることは敬遠されます。さらに、自分自身も日常の中で当たり前に行っている行動を、とりたてて意識することはありません。とりたてて意識しないようなことを外に向けて発信する人もいません。このため、日常生活の中に埋め込まれた自然な支え合いは、非常に表面化しにくく、見つけにくいものになっています。この日常の中の自然な支え合いの見つけにくさが「宝物」と呼ばれるもう一つの理由です。



「宝物」の価値

日常の中の自然な支え合い、つまり「宝物」は、人々が住んでいる所には必ず存在しています。この「宝物」を発見することによって、自分の生活する地域には無いと思っていた支え合いの活動や様々な集まりが存在することに気づき、自分の生活する地域に誇りを持てるようになります。そして、その気持ちが地域に参加し、より支え合いの輪を広げ、地域を創っていく原動力へとつながっていきます。



生活支援コーディネーターが地域の活動をサポートします！

「地域でみんなが気軽に集える場所を作りたいけれど、どうすればいいんだろう…。」

「生活の中で困ることがあるけれど、どこに相談すればいいんだろう…。」

「地域の支え合い活動に参加したいけれど、何をすればいいのかな…?」

こうした悩みをお抱えの方は、ぜひ生活支援コーディネーターにご相談ください。

生活支援コーディネーターとは、地域で暮らすみなさまが安心して生活できるように地域の支え合い活動をサポートする専門職です。地域の「宝物」の発見、お住まいの方々の困りごとの把握を支援し、必要なサービスの開発や支え合い活動の担い手への連絡・養成を行います。みなさまが住み慣れたところで末永く暮らせるように地域生活をサポートします。地域のことでお困りの際はお気軽に社会福祉協議会の生活支援コーディネーターまでご連絡ください。



「宝物探し」の取り組み

蟹江町でもすでに、様々な地域で「宝物探し」が始まっています。その取り組み事例を見ていきましょう。

地域勉強会（新蟹江学区）

新蟹江学区では民生委員の方々を中心として「現在の地域にあるもの・現在の地域にある取り組み」と「将来の地域に必要なもの・将来の地域に必要な取り組み」を考え、その将来像にたどり着くためにはどうすれば良いのかを話し合いました。話し合いを通して「地元の人と新しく入ってきた人たちとの交流がない」といったことに気づき、交流の場づくりや色々な人が話し合いを行う機会を設置することが意識化されました。



ワークショップ開催（各中学校区域）

蟹江町の二つの中学校区（蟹江中学校区、蟹江北中学校区）それぞれでワークショップを開催しました。ワークショップには地域の住民の方々、町内会、長寿会、ボランティア活動者、病院関係者など様々な立場の方が参加されそれぞれの立場から見た「地域の良い所」と「地域の課題」が話し合われました。この話し合いを通して、自分たちの暮らす地域だけでなく他の地域がどんな問題を抱えているのか、そこに共通する課題は何かを共有することができました。



地域での話し合い（南・鍋蓋新田）

南・鍋蓋新田では「カフェ哲やろうかい!」と称して、地域の中の困りごとやイベントを住民自身で考えていく取り組みを始めました。この「カフェ哲やろうかい!」自体も、そもそも「地域のサロンに男性が出てこない」という課題の解決のために考えられたものでした。今では参加する方々が自分たちで「今あるもの」を調べ、「何が必要なのか」をみんなで話し合うという、「宝物探し」からその活用方法の探求へと進み、話し合いの土壌が形成されてきています。



サロン実践者のつどい

サロン実践者のつどいは、現在実際にサロン活動に取り組んでいる関係者の方たちが集まり、それぞれの取り組みの紹介やサロンの課題を議論します。話し合いを通して、それぞれのサロンが必要としている情報を交換したり、今まで気づけなかった活動の視点を得たりと、より地域のニーズに応えられる活動へと結びついていきます。



長寿会単位クラブ活動紹介

駅前長寿会

駅前公民館でサロンを開催しています。毎回の参加者は30名ほど。中川会長挨拶の後は、皆さんで体操!リズムに合わせて、熱心に取り組まれています。体操が終わるとフリータイム。それぞれが、好きなこと(体操・ストレッチ・おしゃべり・トランプ・麻雀・歌など)で楽しい時間を共有します。「公民館なら近いで、みんなが歩いて行ける。」「ここへ来ると安心。みんな顔見知り。気持ちがすっきりして帰れる。」(参加者の声)11時半からはランチタイム。食事をしながら、会話ははずみます。

ひにち	時間	場所
毎月第4水曜日	10:00~15:00	駅前公民館

おすすめかた

- ・会長挨拶
- ・ストレッチ・体操
- ・フリータイム
- ・ランチタイム&ほっとひととき



今川西・今川東老人クラブ

元気アップ体操教室

今区コミュニティセンターで体操教室を開催しています。参加者は30名ほど。関山今区長と太田会長が中心となって、認知症予防のための体操や脳トレを実施。気軽に冗談を言い合える和気あいあいとした雰囲気魅力です。半年に1度、食事をしながらの反省会。皆さんの意見を取り入れて、より楽しめる活動を目指しています!今年は初めて南知多への日帰り旅行を企画。予想を超える参加者で楽しい旅となりました。新会員募集中です!まずはご遠慮なく見学に来てください。お待ちしております!

ひにち	時間	場所
毎月第1・第3水曜日	10:00~11:00	今区コミュニティセンター

おすすめかた

- ・体操・ストレッチ
- ・脳トレ&答え合わせ
- ・貯筋運動
- ・365歩のマーチ
- ・整理体操 など、盛りだくさん!
水分補給をしっかりと!



〈問合せ〉 社会福祉協議会 担当：吉田 TEL 96-2940

知っ得! 介護・障がいトピックス

平成30年度介護保険制度改正のポイントを解説!

平成30年4月に介護保険制度が改正されました。
今回は、共生型サービスと自己負担3割負担の導入について紹介します。



介護保険制度改正の経緯とは

介護保険は2000年に高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みとして創設されました。急激な高齢化から年金や医療、介護といった社会保障給付費が過去最高を更新し続け、2025年には団塊の世代が75歳以上となり、認知症の高齢者や65歳以上の単独世帯・夫婦のみの世帯も増加していく見通しです。さらに介護や医療のニーズが高まることが予想されます。そのため、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図るとともに、制度の持続可能性を確保することに配慮し、サービスを必要とする方に必要なサービスが提供されるようにするため改正されました。

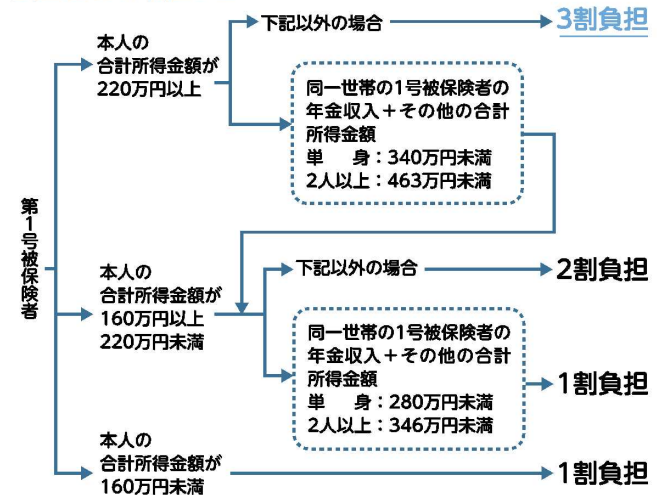
平成30年4月から 新たに「共生型サービス」を位置づけ

介護保険と障害福祉の両制度に新たに「共生型サービス」が位置づけられました。このサービスの目的は、高齢者と障害児者が同一の事業所でサービスを受けやすくすることです。現行では介護保険事業所が障害福祉サービスを提供する場合に、それぞれ指定基準を満たす必要がありました。そのため、たとえば障害福祉サービスを利用してきた方が65歳以上になり、介護保険サービスに移行する際には事業所を変えざるを得ない場合もありました。しかし、新たな「共生型サービス事業所」では、このような不便さの解消が期待されています。

平成30年8月から 自己負担額の見直しで一部3割負担の導入

世代間・世代内の公平性を確保しつつ、介護保険制度の持続可能性を高める観点から、一部のサービス利用者の自己負担を3割に引き上げられます。ただし、月額44,000円の負担上限があります。介護保険サービスの自己負担は、介護保険制度スタートから15年間は原則1割でした。しかし前回の改正で一定以上の所得がある利用者の自己負担を2割に引き上げ、今改正では、さらに2割負担の人のうち現役並みの所得がある方の自己負担が3割となります。厚生労働省の試算によると、3割負担となる対象者数はおよそ12万人（受給者全体の3%ほど）です。

負担割合の判定フロー



●第2号被保険者、市区町村住民税非課税者、生活保護受給者は上記に関わらず1割負担。

新しく入った職員を紹介します!



障害者相談支援事業所
いんやま ひでゆき
稲山 未来

「地域に根ざした福祉」に携われることをとても嬉しく思っています。これまで関わってきた高齢者分野での経験と、2歳になる息子の育児で培った体力をこれからの仕事に活かせればと思っています。よろしくお願いいたします。



訪問介護事業所
いわした かつたろう
岩下 祐太郎

新しい環境で分からないことも多くありますが、毎日を大切に皆さまのお役に立つよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

社協のこれから(計画・予算)とこれまで(報告・決算) みんなで助け合い 安心して

[]内は平成29年度の実績

法人運営事業

会議の開催

理事会(業務執行機関)、評議員会(議決機関)を開催します。また、評議員選任・解任委員会を開催します。
[理事会4回、評議員会3回、監査1回、評議員選任・解任委員会1回]

自主財源の確保

皆さまにご協力いただく会員制会費、福祉愛応援シールや福祉基金により、自主財源を確保します。
[会員制会費5,132,500円、福祉愛応援シール66,839円、福祉基金1,349,025円]

広報

広報紙「笑顔〜かにえの福祉」の発行やホームページの運営を行います。[広報紙年4回発行]

音訳版・点訳版広報を配布

音訳グループと点訳グループのご協力を得て、社協や町の広報紙等の音訳CDや点字作成を行い、視覚障がい者の皆さまへお届けします。

フードバンクの利用

NPO法人セカンドハーベスト名古屋と社協が協定を結び生活にお困りの方に食料品をお届けします。[26件利用]

入浴助成事業(町受託事業) ※平成29年度で終了
町内に住所を有する60歳以上の方で入浴に支障のない方に対し、尾張温泉東海センターに入浴できる利用証と回数券を発行しました。[利用証発行83名、回数券発行459名]

地域福祉推進事業

会食会

65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、長寿会連合会の皆さま方のご協力を得て、月1回、食事と温泉入浴・余興をお楽しみいただけます。[延べ551名利用]

友愛訪問活動

65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、地域の方が訪問する見守り活動です。[延べ3,266件訪問]

配食サービス(町受託事業)



65歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、業者による安否確認を兼ねた昼食用のお弁当を自宅まで毎週月曜日から金曜日の内希望日にお届けします。[延べ13,843食利用]

日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

認知症高齢者等で判断能力が不十分な方に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサポートを行います。
[相談142件、契約1件]

心配ごと相談事業

弁護士による法律相談(月2回)と民生委員による心配ごと相談(月1回)を行います。[法律相談86件、心配ごと相談7件]

戦没者追悼式事業

先の大戦における本町の戦没者等に対し、御霊を追悼するとともに、恒久平和を祈念するため戦没者追悼式を行います。[64名参列]

ボランティア活動育成事業

ボランティアセンター

ボランティア登録、連絡調整やボランティア活動保険の加入を行います。[31団体1,478名、個人38名登録]

福祉実践教室

小学生が車いす・盲導犬・手話・点字の体験学習を行います。[1,288名参加]

青少年等ボランティア体験学習

中学生・高校生が、町内の保育所や高齢者福祉施設・地域のふれあい・いきいきサロンでボランティアを体験します。[167名参加]

各種講座

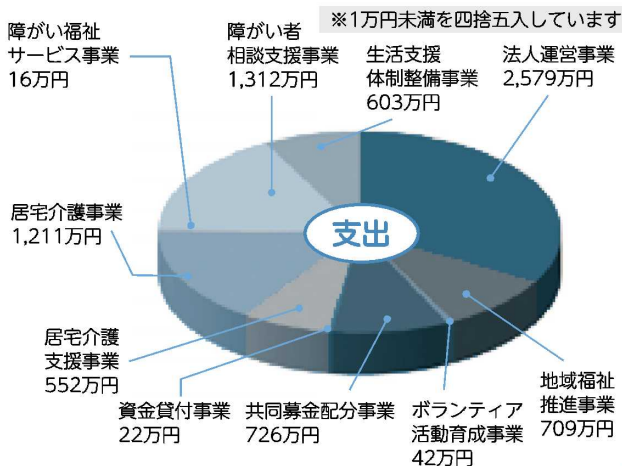
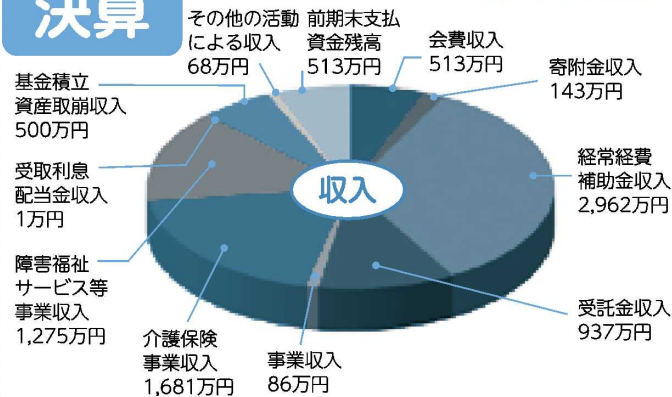
手話講座やボランティア入門講座等を開催し、ボランティアを育成します。[1講座37名参加]

ボランティア交流会

ボランティア活動者を対象に、お互いの活動の理解を深める交流会を開催します。[4日間25名参加]

平成29年度
決算

翌年度への繰越額 **906万円**



暮らせるまち かにえ



共同募金配分事業

車椅子の無料貸出

ちょっとしたお出かけ時や一時的な利用にお貸ししています。[119台貸出]

ふれあいバス旅行

65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、日帰りバス旅行を実施します。[106名参加]

敬老金の贈呈

99歳以上の皆さまへ祝い金を贈呈します。[12名贈呈]

社会見学

身体障がい者の皆さまを対象に、日帰りバス旅行を実施します。[110名参加]

子ども会活動の援助

子ども会活動中の傷害・賠償責任を補償する子ども会安全共済会の加入を補助します。[2,671名加入]

中学校卒業生徒へ祝品贈呈

ひとり親家庭等の中学校卒業生徒へ祝品を贈呈します。[11名贈呈]

福祉団体等へ助成

福祉団体やふれあい・いきいきサロンへ助成します。[福祉団体10か所、民間保育所1か所、町内会32か所、ふれあい・いきいきサロン6か所]

資金貸付事業

低所得等で資金にお困りの方に、生活福祉資金・小口資金などの貸し付けを行います。[相談件数41件]

居宅介護支援事業

ケアマネジャーが介護を必要とされる方のケアプランを作成し、さまざまな介護サービスの連絡・調整を行います。[ケアプラン作成 延べ391件、認定調査 延べ64件]



居宅介護事業

訪問介護事業

要支援・要介護認定を受けた高齢者の居宅へホームヘルパーを派遣し訪問介護を行います。[ホームヘルパー派遣 延べ610名]

介護予防・日常生活支援総合事業

訪問型サービスAの指定事業者として、要支援者の方を対象に掃除や洗濯等の生活支援サービスを提供します。

障がい福祉サービス事業

障がいのある方へホームヘルパーを派遣し訪問介護を行います。[ホームヘルパー派遣 延べ45名]

障がい者相談支援事業(町受託事業)

障がいのある方のいろいろな相談に応じ、情報提供や助言を行います。[相談支援利用者512名、相談件数 延べ1,462件、ケアプラン作成 延べ67件、モニタリング 延べ176件、認定調査 延べ57件]

生活支援体制整備事業(町受託事業)

「お互いさま」と思える暮らしやすい地域をみんなで作るお手伝いをします。平成29年度より「かにえまるとサポートセンター」を開設しました。[サポーター養成講座2回70名][センター登録 サポーター54名・利用会員26名、年間活動延べ613回、サポーター交流会10回243名参加]

多世代交流施設指定管理事業(町受託事業)

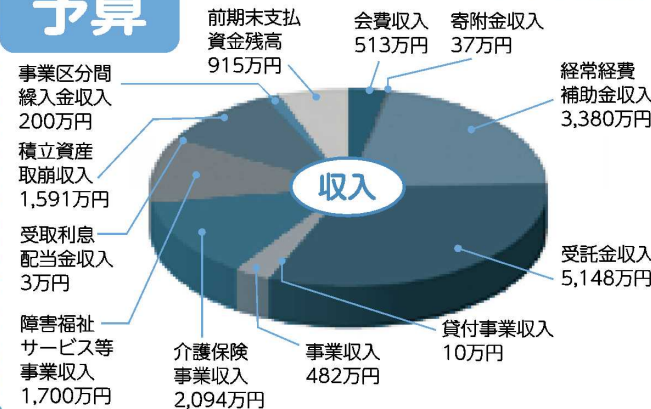
NEW

平成30年10月から指定管理者として「蟹江町多世代交流施設」の管理運営をします。町民の福祉向上と健康増進を図るとともに、世代間の交流を通じた活力ある地域づくりを図るため、広く町民の方に利用していただけるようにイベントや事業を提供し、地域福祉の充実を図り、安心・安全に暮らせるまちの実現を目指してまいります。

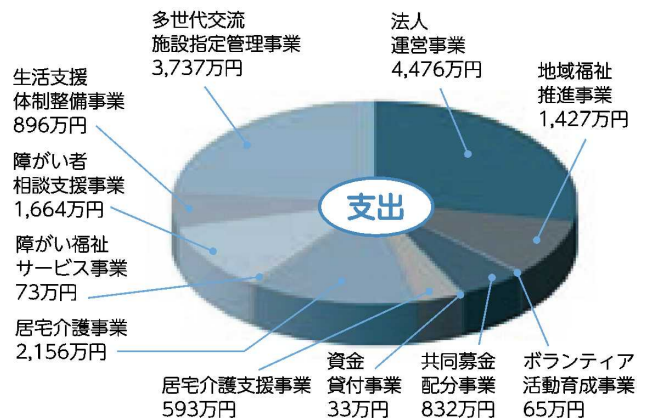
※平成29年度事業報告と決算は本会において閲覧することができます。

平成30年度
予算

翌年度への繰越額 119万円



※1万円未満を四捨五入しています



ほっとだより

無料 日常生活でお困りのことはありませんか？

法律相談(予約制)

弁護士が対応します

相談日	7月	8月	9月
第2火曜日	10日	14日	11日
第4火曜日	24日	28日	25日

場 所 総合福祉センター2階

相談時間 午後1時～3時(1件あたり30分程度)

予約方法 相談したい月の前月1日から電話予約(TEL96-2940)ができます。
※1日が土・日・祝にあたる場合は次の平日から

受付時間 月曜日～金曜日(祝日を除く)
午前8時30分～午後5時15分



心配ごと相談(予約不要)

民生委員・児童委員が対応します

相談日 7月24日、8月28日、
9月25日の火曜日
場 所 産業文化会館3階
相談時間 午前10時～午後3時



ご寄付 ありがとうございました

平成30年3月15日～6月18日(受付順)

“小さな善意で大きな愛の輪”募金運動
ピアゴ蟹江店様……………27,963円
経福会様……………50,000円
名古屋ヤクルト販売株式会社様…5,529円
蟹江町学童保育所父母連絡協議会様
……………8,352円

車椅子貸出し

お出かけや通院時の一時的なご利用に車椅子を無料で貸出しています。



対 象 者 町在住の方で、一時的または他制度利用までのつなぎに必要な方。町外の親族の方が蟹江町に滞在し介助を必要とする時にもお貸しできます。

利 用 料 無料

貸出期間 3か月以内

手 続 き 申請者の印鑑と利用される方の身分証明(免許証・健康保険証など)をお持ちいただき、蟹江町社会福祉協議会窓口で申請してください。

他の制度について、ご不明な点がございましたらご相談ください。

ご家庭に不用品はありませんか？ バザー物品の提供にご協力をお願いします。

福祉バザーの収益金は、赤い羽根共同募金へ寄付され、蟹江町の地域福祉活動に役立てることができます。

物品受付 期 間 7月2日(月)～9月28日(金)
(土・日・祝休み)

場 所 午前8時30分～午後5時15分
町社会福祉協議会(総合福祉センター内)
※ご連絡いただければ受取りに伺います。

取り扱えないもの
食品・大型の物・中古品・衣類・ガラス製品・ぬいぐるみは、ご遠慮ください。



福祉バザーの開催日

日 時 11月3日(土)
午前10時～11時45分
※終了時間が前後する場合があります。
場 所 蟹江中央公民館内ロビー

ボランティア探訪

睦美会ボランティアサークル



睦美会は、会ができて25年、ライオンズマンションニューシティ蟹江の有志が集まるボランティアグループです。発足のきっかけは、地域以外からの入居が多く、蟹江の事は何もわからず自分たちで何とか…と言う思いからできたと聞いています。マンション内で開く月1回の例会では、お茶をしながら楽しくおしゃべりしたり、歌を唄ったり、地域包括支援センターや保健センターから来ていただいて勉強会もしています。また、マンション内の夏まつりの手伝い、カリヨンの郷、かにえワークスのボランティアに出向いています。マンション内でも、ゴミ出しや介助等の手伝いもさせてもらっています。仲間づくり、困りごとの話し合い、その他いざと言う時に何かお手伝いができるようみんなで頑張っています。



新役員の紹介

順不同・敬称略

去る5月28日の評議員選任・解任委員会及び6月13日の評議員会において、次の方が新しく本会の役員に就任されました。

理事	寺西 孝 (行政代表)	評議員	蜂須賀 稔 (PTA代表)
評議員	高瀬 清之 (学校長代表)	評議員	櫻井 佳奈 (子ども会代表)

福祉クイズ??

Q.夏休みボランティア体験で
今年度から初めて体験先になったのは?

ヒント：○○○○・いきいきサロン

え す□か ご	す み の□ん	あた□た く し	え よ□け こん
---------------	---------------	----------------	----------------

ヒント：□の中に当てはまる文字を並べ替えると答えになります。

4 9 7 0 0 4 4

蟹江町大字蟹江新田
字佐屋川東46番地
社会福祉法人蟹江町
社会福祉協議会「福祉クイズ」係

▲切り取って使ってください

ハガキに①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦広報紙「笑顔～かにえの福祉」の感想や社会福祉協議会へのご意見を書いてお送りください。

〒497-0044

蟹江町大字蟹江新田字佐屋川東46番地
社会福祉法人蟹江町社会福祉協議会「福祉クイズ」係

正解者の中から抽選で1名様に図書カード(1,000円)・

5名様に福祉(愛)応援シールを差し上げます。抽選結果は発送をもって代えさせていただきます。

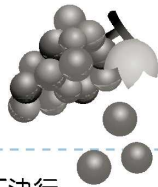
【締切】平成30年7月31日(火)(当日消印有効)

※お預かりした個人情報は厳正に管理のうえ、図書カード等の発送のみに使わせていただきます。

※お寄せいただいた内容は、本会のホームページや「笑顔～かにえの福祉」で紹介させていただくことがあります。

笑顔～かにえの福祉145号(4月号)の正解は〈①愛〉でした。多数のご応募ありがとうございました。

身体に障がいのある皆さまへ ぶどう狩りに でかけましょう！



- 日時** 9月9日(日)午前8時出発 雨天決行
役場北側駐車場へ集合
午後5時30分帰着予定
- 行き先** 愛知県岡崎市(岡崎駒立ぶどう狩り)他
- 対象者** 蟹江町在住で身体障害者手帳をお持ちの方
※介助者が必要な場合は1名まで参加できます。
- 参加費** ひとり3,000円
(当日お支払いください)
- 募集人数** 140名(応募者多数の場合は抽選)
- 申込み** 8月9日(木)までに蟹江町社会福祉協議会
TEL96-2940 FAX95-7986
- その他** 車椅子リフト付き観光バスも利用します。
(車椅子座席数に制限あり)



さと カリヨンの郷 夏祭りに遊びに来て！



模擬店、盆踊り、お楽しみ抽選会など、大人も子どもも楽しめる宵祭りです。ご家族、友達同士でぜひ遊びに来てくださいね。『暑い!夏祭り』を一緒に楽しみましょう。

- 日時** 8月19日(日) 午後3時~5時30分(予定)
- 場所** 老人福祉施設「カリヨンの郷」内(今字伊勢苗代)
- 問合せ** カリヨンの郷 TEL95-8830

〈先着200名様〉「笑顔」かにえの福祉を見たよ
という方にはジュースをプレゼント!!

きこえないってどんなこと？ ~なつやすみ手話講座~

8月毎週日曜日

8/5、8/12、
8/19、8/26

(全4回)

午前10時~午前11時30分

耳の聞こえない方とお話ししたことはありますか？
耳の聞こえない人たちのことを知って、楽しく手話を学ばませんか？

場所

蟹江中央公民館
分館3階
会議室1・2

(蟹江町城一丁目214番地)



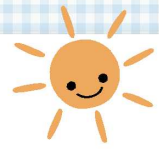
夏休みに
みんなで
学ぼう!



対象者	子どもも大人もどなたでも
受講料	学生は無料。学生以外は200円(テキスト代等)
定員	30名 ※応募者多数の場合は抽選します ※新規申込者が4名以下の場合は中止します ※以前に講座を受けた方もお申込みできますが、新規の方を優先します
申込み	7月27日(金)までに蟹江町社会福祉協議会へ TEL 96-2940

手話とは、聞こえに障がいのある方たちが手で話す大切な「ことば」です。

この夏、ボランティアで新たな一歩を!



夏休みを利用してボランティア体験学習を開催します。この夏休みに、ボランティア体験を通して新たな一歩を踏み出してみませんか。



対象者	蟹江町在住の中学生および高校生
参加費	無料
申込方法	町立中学校へ通っている方は7月5日(木)までに在籍する学校へ、 町外の学校に通っている方は7月13日(金)までに蟹江町社会福祉協議会へお申込みください。

Step 1 研修会参加

「ボランティアってなに?」「ボランティア活動ってなにをするの?」。そんな素朴だけどなかなか答えられない問題を、ワークショップを通してみんなでお考えます。また、施設の担当職員とのミーティングも行います。



ひにち(1日選択)	時間	場所
8月8日(水)・9日(木)	14:00~16:50	蟹江町産業文化会館

Step 2 ボランティア体験

高齢者施設や保育所、地域のサロンなど、各施設でボランティア体験をします。

- **デイサービス** …………… 利用者のお迎えやレクリエーション・体操の補助、入浴のお手伝い、ティータイムや食事の配膳等をお手伝いします。
- **通所リハビリ(デイケア)** …… 施設内の見学、レクリエーションや体操の補助、入浴後の整髪、ティータイムや昼食の配膳等をお手伝いします。
- **保育所** …………… 本の読み聞かせや着替えの補助などの保育の手伝いや、プールの掃除などを行います。
- **ふれあいいきいきサロン** …… 地域の方々との交流、レクリエーションやティータイム等のサロン活動をお手伝いします。

体験施設(内1か所)	ひにち(内1日)	時間	定員*1	昼食*2
カリヨンの郷・須成(デイサービス)		8:20~16:00	10名	各自または400円
カリヨンの郷・新千秋(デイサービス)		8:15~16:00	10名	
セーヌ蟹江(通所リハ:デイケア)		8月16日(木)	8:20~16:00	10名
蟹江保育所	8月17日(金)	9:00~15:10	150名	各自
蟹江西保育所	8月21日(火)			
蟹江南保育所	8月22日(水)			
舟入保育所	8月23日(木)			
新蟹江北保育所				
須成保育所				
ふれ愛サロンの会	8月17日(金) 8月21日(火)	9:45~12:15	8名	不要
東大海用ふれあいサロン	8月17日(金)	9:45~12:15	4名	不要
駅前団地つどいサロン	8月21日(火) 8月23日(木)	12:45~15:15	8名	不要

*1 定員を超えた場合は抽選をすることがあります。

*2 カリヨンの郷、セーヌ蟹江では昼食を依頼できます。(希望する場合は費用がかかります)

Step 3 感想文提出

ボランティア体験が終了したら本会へ感想文を提出してください。

昨年度の感想

蟹江中学校1年生(当時)

今回の体験で「福祉」という言葉の見方が変わった気がしました。なぜなら今まで「福祉」は「大変そう」とか「嫌になりそう」と思っていたのですが、今回の体験を通して「福祉」は「自分も笑顔になれる」ということに気が付いたからです。

かにまる通信

「ずっとこの場所で暮らし続けたい」

日々の暮らしの中であなたが頼りにしたいのはどちら?

遠くに暮らす家族ですか?それともご近所さんでしょうか。どちらも大切な存在ですが、「高齢になっても、一人暮らしでも、少々体の不自由があっても、今の生活を続けたい」、「楽しみや、生きがいを持って満喫した暮らしをしたい」そんな願いはちょっとした支援があれば実現できるのではないのでしょうか。

画一的ではない個々の必要に応じた身近な協力者、まるでご近所さんのような存在になることができたら、かにえまるごとサポートセンターの地域支え合い活動はあります。

では、その活動は具体的にどんなことをするのでしょうか。掃除や洗濯、電球の交換、衣類の整理、食品等の買い物代行、話し相手等、利用会員さんの様々な依頼に応じてサポーターがお手伝いします。「定期的に来てほしい」「単発がいいな」「信頼できる人に来てほしい」「プライバシーは守られたい」などを事前の打ち合わせで確認し合うことができます。

利用会員さんは主に要支援の認定を受けた方(要支援以外の方でも利用できる場合があります)。サポーターはボランティアの理念を持つ、地域支え合いサポーター養成講座の修了者です。その橋渡しをするのが、蟹江町社会福祉協議会かにえまるごとサポートセンターです。

利用を迷っている方やサポーターに興味のある方はセンターまでご連絡ください。地域支え合い活動は、すでに始まっていますよ。

(平成30年5月31日現在 利用会員29名、かにまるサポーター57名)

サポーターの声!



今までの仕事も退職時期が近づき、何か新しいことに挑戦しようと思っていた時「地域支え合いサポーター養成講座」が開催されると聞き参加しました。

現在は2人の方を受け持っています。おひとりは買い物代行を手伝っています。商品の空き箱を用意してくださるので30分ほどで買い物を済ませます。その後計算をしながらお話をしますが、この方と出会わなければ聞けなかったお話も聞けるので勉強になっています。もうおひとりはお掃除のお手伝いです。亡くなった母と同一年の方で、2週間に一度母に会いに行くような気持ちで伺っています。

これからも自分のできる範囲でサポートセンターを利用される方々に寄り添っていきたくらいな気持ちで思っています。

かにまるカフェ・はるすの湯がオープンしました!!

かにまるカフェはかにまるサポーターが運営する集いの場です。3月25日(日)のプレオープンに始まり、4月8日(日)、6月10日(日)に開催し、各日30~50名の方で賑わいました。

受付で、「その日呼ばれたい私の名前」をシールに書き胸に貼ります。フロアでは歌に合わせて体操、麻雀、オセロなどのゲーム、ドリンクを手におしゃべり、足湯など思い思いの時を楽しみました。サポーターSさんの得技「手相コーナー」は順番待ちの人気!「久しぶりに会えた方と話がはずみ、青春時代の恋バナも伺いました」との声も。

カフェは出会いの場。「やあ!」と声を掛けあえる関係が広がるといいですね。

今回のカフェは
8月19日(日)
10:00~12:00



▲Hさん手作りの看板



▲中庭を見ながら足湯でほっこり

笑顔

音訳(録音)版・点訳(点字)版もあります。ご希望の方はお問い合わせください。

は皆さまからいただいた会費によって年4回(4・7・10・1月号)発行しています。

社会福祉法人蟹江町社会福祉協議会

〒497-0044

愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田字佐屋川東46番地

総務係・地域福祉係
かにえまるごとサポートセンター

0567 (96) 2940

居宅介護支援事業所・訪問介護事業所
障がい者相談支援事業所

96-3736

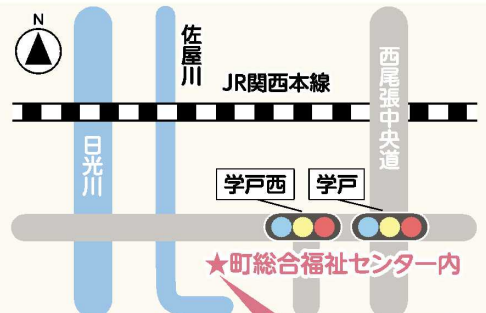
FAX番号
(共通)

95-7986

※局番をお確かめのうえおかけください。間違い電話は大変迷惑となりますので、ご協力をお願いします。

E-mail:k_syakyo@clovernet.ne.jp

<http://www.kanie-syakyo.jp/> かにえ社協 検索



★町総合福祉センター内

正面玄関から入って
左奥に事務室があります。